

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。					
優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	11	役割分担や業務手順を整備し、業務の流れをスムーズにしたい。	それぞれが自分の役割を意識し、グループホームの基準に沿った業務がスムーズに行える。	1)スタッフ一人に1つは係となる業務を受け持つ。 2)担当でなくても理解でき、代理できるよう、各業務の手順書を作成する。 3)各勤務の時間帯ごとの役割分担表を整備し、シフト形態に合わせた一日の流れを作る。	6 ヶ月
2	26	ご利用者の”できること”の能力を維持できるように意識し、日々のケアに繋げたい。	ご利用者が、自分の能力を維持することができる。	1)各ご利用者の能力に合わせ、実施できる生活リハビリを日課計画表に1項目は入れる。 2)ご利用者の『ADL確認表』を作成し、アセスメント時に状態確認・更新を行い、状態に合わせたケアの検討を行う。	12 ヶ月
3	49	ご利用者の要望や状態に合わせた外出支援を充実させたい。	ご利用者が、地域との関わりや季節感を感じながら、グループホームでの生活を楽しむことができる。	1)担当者をはじめスタッフが、ご利用者の”行きたい所”などの要望を日常会話の中でお伺いし、収集できた情報は、記録上の”アセスメント”項目に入力し、申し送りにて共有する。 2)リハビリを兼ねて散歩を行う、希望の地域へ外出する、などのご利用者の状態に合わせた計画をケアプランに反映する。	12 ヶ月
4	33	ご利用者の急変時などの緊急対応や、終末期ケアに関する知識の向上を目指し、全職員が有事に適切な対応が行なえるように備えたい。	緊急対応や終末期ケアの場面で、全職員が適切な対応を行うことができる。	1)マニュアルの見直し・整理を行い、各棟に常備する。 2)看護師と相談しながら、必要備品を準備する。 3)特に注意が必要な疾病については、病気について情報収集した資料を基に、ユニット会議の際にミニ勉強会を行い、スタッフ全員で共有する。	12 ヶ月
5					ヶ月